

~直近1ヵ月の振り返りとP-FAN的考察~



P-FAN-SPECIAL EDITION

2018年6月26日 高尾が「カイジ」購入ホールへお詫び

✓ ★ < P-FAN特集>

★直近1ヵ月のパチンコ業界トピックス

2018年7月9日	広告宣伝等のより一層の注意を要請~札幌方面	2018年6月22日	阿部理事長が3期目、カジノとの違いを示す
2018年7月8日	景品横領した元店長受刑者に24億円の賠償命令	2018年6月21日	平成30年度の立入検査目標は2,200店舗〜機構総会
2018年7月7日	ギャンブル等依存症対策基本法が成立	2018年6月19日	健康増進法改正案が衆院本会議を通過
2018年7月6日	パチスロ新ブランド『WORLD』発足!!	2018年6月19日	IR実施法案、衆院本会議で可決
2018年7月6日	減少続く業界総粗利、ついに3兆円割れ〜DK-SIS	2018年6月13日	前倒し認定の影響で、認定台数前年比786.7%
2018年7月4日	依存症対策基本法案が参院で審議入り	2018年6月13日	日遊協総会、庄司会長が再任
2018年7月2日	高射幸性機規制未達成会員を資格停止に~同友会	2018年6月10日	前年比32%ダウン~日電協証紙発給枚数
2018年7月2日	新規則パチンコ、続々と検定通過	2018年6月10日	6号機の申請76件、適合4型式/日電協報告
2018年6月29日	マルハン、新経営体制を発表	2018年6月7日	高射幸性パチスロの削減方針、業界6団体で合意
2018年6月27日	東京都受動喫煙条例、ホールは政府案と同様の扱い	2018年6月5日	射幸性に頼らない多様な遊技機づくりを推進
2018年6月27日	新基準機の扱い方が今後の課題		
2018年6月27日	全日遊連加盟店調査、パチスロが2カ月連続で増加		
2018年6月27日	ニラク、敷地内に「コメダ珈琲店」をオープン	5月~6	月のトピックスで特に

5月~6月のトピックスで特に 気になる記事をピックアップ!





-P-FAN-SPECIAL EDITION-

★ ★ ★ <P-FAN特集>

・6号機の申請76件、適合4型式/日電協報告

日本電動式遊技機工業協同組合(佐野慎一理事長)は6月8日、都内のホテルで第38回通常総会を開催。総会に先立って挨拶した佐野理事長は、今年2月に施行された規則改正により出玉性能が2/3に削られる一方で、傾斜値の上限撤廃など自主規制の見直しに道が開かれたと述べた上で、「短い時間で遊べる遊技機の提供が可能になるなど、開発の自由度が高まる期待がもてるようになった」と語り、新規則対応機の6.0号機開発に強い意欲を示した。総会後の記者会見では、4月から申請が開始された6.0号機の試験状況が説明され、4月に40件、5月に36件が申請され、4型式に適合が出ていること、申請された計76型式のうちおおむね8割がAT・ART機を占めていることが報告された。

6.0号機の販売開始の時期について兼次筆頭副理事長は、「適合を取れたものを売ろうと思えば、8月のお盆商戦にいくつかのメーカーがのってくる可能性はなきにしもあらず。ただ通常は展示会など納品までたっぷり2ヶ月くらいの準備期間を置く。メーカー各社の販売戦略によるため、あくまで可能性として理解してもらいたい」と応じた。

日電協では6.0号機のAT・ARTの有利区間について今年1月末までに2,400枚に到達するか(MY2,400枚)、1,500Gを消化するか、どちらかに自主規制する方針を決めた。また2.0枚/G以下に抑えていた傾斜値の自主規制の撤廃にも踏み切った。しかし規則上に1,600G(4時間)出玉規制が追加されているためMYが現実的に何枚くらいに落ち着く見通しにあるかは見えていない。これについて岩堀技術委員長も、「そこはメーカー各社が創意工夫をしているところだが、実質何枚になるかは現段階ではまだ見えていない」(同)と答えた。

日電協の佐野理事長も言っているように、「短い時間で遊べる 遊技機の提供が可能になるなど、開発の自由度が高まる期待が もてるようになった」そんな新台が今後続々と登場すると思わ れるわ。業界的には6号機と言う名称になるわね。出玉性能の 総量で見れば、最大MY3000枚⇒2400枚へ、5.9号機よりも 圧倒的に低下しているけど、純増枚数の制限は撤廃されたから 短時間での出玉スピードは一気に上がるわ。保诵協の出玉試験 を考えると、現実的には純増5枚~6枚が最大になりそうよ。す でに情報が続々と出始めている、大都技研の「アメリカン番長 HEY!鏡」が6月に適合した4型式に入っていたらしいわ。この 機械、純増5.0枚と言われていて、天井やモード、設定差のあ るART確率など、プラスと思われる性能を搭載しているようよ。 6号機でもAT・ARTは有利区間が必要だけど、HEY!鏡につい ては、有利区間を感じない仕様になっているそうだから、59 号機と比較するとだいぶ不満点は改善されていると思うわ。た だ今度のクレアが機歴になるようだから、クレア未導入店舗に は難しい判断が待っているかもしれないわね。期待と不安を抱 えたまま、新しい時代を象徴する機械になって欲しいわね!



-P-FAN-SPECIAL-EDITION-

★ ★ ★ ★ <P-FAN特集>

・減少続く業界総粗利、ついに3兆円割れ~DK-SIS

ダイコク電機は7月5日、都内ホテルで「DK-SIS白書2018年版-2017年 データ-I発刊記者発表会を開催した。

挨拶に立った同社の根本弘代表取締役社長は、「やはり業界動向10大キーワードのトップに来るのは2018年2月より施行された「規則改正」。2018年は『新基準機が遊技客の心を掴む』という文言がキーワードのトップにきてくれることを期待している。少なくとも「新基準機と旧基準機の比較」という項目が増えていることに期待したい」と述べたほか、「昨今は『遊技客は減り続けている、新規客を増やさなければいけない』が合言葉になっているが、まずは今遊技しているお客様が満足しているか、満足させることができているかを見ていく必要がある。

DK-SISによると2017年の業界総粗利は前年比2,000億円減少し、2.91 兆円。総売上も前年比1.5兆円減少し、18.6.兆円の推計となった。これにより業界総粗利が3兆円割れ、総売上も20兆円下回る厳しい結果となった。また、パチンコ・パチスロを合わせた台当たりの売上は前年比1,163円減少の1万7,984円。1時間当たりの売上(時間売上)は前年比150円減少の4,550円となった。さらに台粗利は、前年比100円減少の1,970円となり、ついに2,000円を割り込んだ。

パチンコの売上は前年比1,910円減少の1万5,460円で、SIS集計以来の最低業績を更新、台数シェアも縮小傾向となった。一方、パチスロの売上は前年比48円の減少にとどまり2万2,104円と業績は横這いに推移。相対的にパチンコよりも業績が良く、台数のシェアも増加している。

減少続く業界総粗利、ついに3兆円割れ!!!!! 3兆円って、すごい数字じゃの。これでも「ついに」と書かれ るくらい、過去には相当な額の粗利額が業界にもたらされてい たわけじゃが、売上額・粗利額から計算すると、ざっくり「粗 利率」で、15.65%程度になる。これが高いか低いかと言えば、 やはり業界的には平均的な数値と考えるぞ。わしも長年業界を 見続けているが、等価エリアで見れば20年前も現在も約15% 前後と言う数値は、大きく変わっとらん。何が変わったかと言 えば、間違いなく店舗格差じゃの。昔はどの店も15%前後だっ た粗利率が、今は10%の高稼働店と20%を目指す低稼働店と 言う構図になっておる。格差が広がれば広がるほど、内情も広 がっていくと言う事じゃ。中小規模の店舗に落とし込んでみる と、稼働も売り上げもそれは相当な影響が出ている。とはいえ、 全体で店舗数・売上・粗利共に大幅な減少傾向じゃから、しば らくは店舗格差の広がりは止まらないの~



